

はじめに

八代市では、持続的な発展が可能な地域社会を構築するため、平成21年2月に「八代市環境基本計画」を策定し、市民、市民団体、事業者の皆様方とのパートナーシップのもと、環境像として掲げた「人と自然が調和するまち やつしろ」の実現に向け、環境意識の高いひとづくりを基軸とした、地球温暖化対策やごみの減量化などの環境施策を推進してまいりました。



しかしながら、平成23年3月に発生した東日本大震災による原発事故は、エネルギーに依存した私たちの暮らしを見つめ直す機会となりました。

折りしも本市におきましても、清流球磨川を取り戻すべく日本初の事例となる荒瀬ダムの撤去工事やごみ処理施設の能力低下に伴う「ごみ非常事態宣言」の発令など、この5年間に本市を取り巻く環境も大きく変化しており、今回このような社会情勢の変化に適切に対応し、実効性ある計画内容となるよう見直しを行ったものでございます。

今後は、この改定された八代市環境基本計画を市民の皆さんとともに推進し、環境にやさしいまちづくりの実現を目指してまいります。

最後に、この計画の改定にあたり、市民アンケートやパブリックコメントにご協力いただいた市民、事業者の方々をはじめ、貴重なご意見、ご提案をいただきました環境パートナーシップ会議委員や環境審議会委員の皆様、心から感謝を申し上げます。

平成27年1月

八代市長 中村 博生